

平成25年度

農村生活体験事業

～ようこそ！自然の恵み野わっさむ町へ～ 大阪府・愛媛県から女性3名が来町

ようこそ！和寒町へ
今年も「農村生活体験事業」で3名のかたが来町されました。和寒町担い手推進協議会が平成2年からはじめたこの事業は、これまで24都府県から89名のかたが参加されています。

3人は、10月末までの約5か月間、農村体験研修施設「ふれ愛の里」で生活をしながら、町内の9戸の受け入れ農家などで農業実習や町内の各種イベントに参加するなどして農村の魅力を体験していきます。
町民の皆さん5ヶ月間どうぞよろしくお願ひします。

実習生の3人に 次のことを伺いました

Q1 和寒町に来て感じたことや印象はどうですか。

塚本 麻理
余計なものがなく、広大な自然が印象的です。

上野 彩
自然豊かです。とてもものどかです。会う人会う人が皆優しく感動します。
お店も結構あって安心しました。

下出 佳代
畑が丘まで続いていて広い。道が直線で車が少ない。湿気がなく過ごしやすいです。



塚本 麻理さん
出身地：大阪府
趣味：ヨガ、ランニング、ソフトテニス

Q2 農業体験をしたいと思ったきっかけは何ですか。

塚本 麻理
農の暮らしや、都会から離れた自然豊かな暮らしに関心がありました。

上野 彩
今までと違った仕事をして、新しい自分を見つげたいと考えていたところ、この募集を目にし、農業について知りたいと思ったのがきっかけです。

下出 佳代
仕事でいろいろ大変なことがあり心が疲れていたため、雄大な自然の中で気持ちを整え、リラックスタイムがほしいと思ったから。

Q3 農業体験で楽しみにしていることは何ですか。

塚本 麻理
知らないことを知ることです。農業についてはほとんど知らないので、すべてが新鮮です。

上野 彩
自分が携わった作物の成長過程を見ることが。採れたての野菜の美味しさを知れることです。

下出 佳代
毎日手入れをした野菜が実をつけ、収穫できるまでの成長を見ることが、野菜の調理方法などを知ることです。



上野 彩さん
出身地：大阪府
趣味：音楽鑑賞、読書、語学学習



下出 佳代さん
出身地：愛媛県
趣味：スノーボード、サーフィン、釣り



Q4 農業体験で不安なことはありますか。

塚本 麻理
体力です。頑張ります。

上野 彩
農家さんたちの足手まといにならないか不安ですが、精一杯頑張ります。

下出 佳代
農作物を丁寧に扱えるかどうかと、体力が続くのか、農家さんに迷惑をかけてしまうのではないかとのこと。

Q5 農業体験のみならず、北海道でやってみたくはありますか。

塚本 麻理
毎月1回は遠出をしていろいろな場所へ行き教養を深めたいと思います。

上野 彩
いろいろな場所へ行って観光すること、和寒町のイベントなどに参加してたくさんお友達を作りたいです。

下出 佳代
北海道のいろいろな観光地を巡ってみたい。おいしい特産物を食べ、きれいな自然・景色を見てみたい。

Q6 この農業体験をおしてどのようなことを学びたいですか。

塚本 麻理
自然とともに生きるということがどういふことか実感したり、食の源などを学びたいと思います。

上野 彩
農作物が消費者のもとへ届くまでにどのような過程を経ていくのか、農家さんたち作り手の思いなどを知り、今後の自分の人生に活かせるようたくさんのことを吸収したいです。

下出 佳代
出荷までの流れや、野菜の調理方法などを教えてもらいたい。



Q7 最後に和寒町民の皆さんにメッセージをどうぞ。

塚本 麻理
不慣れなことばかりでご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、どうぞよろしくお願ひします。

上野 彩
私たちがあたたかく迎えて下さり本当に感謝しています。どこかでお会いしたらお声をかけて下さると嬉しいです。これから5ヶ月間頑張りますのでよろしくお願ひします。

下出 佳代
農作業の経験がまったくなく、年齢が若くないので体力的に大丈夫か不安がありますが、受け入れていただいております。ありがとうございます。明るく元気に頑張ります。よろしくお願ひします。

受け入れ農家さんから

今回、実習生の受け入れに協力していただいている字中和 西田秀雄さんは「手作業で農業を体験することで、農業に頼らない『食の安全』を提供できることを学んで欲しい」「いろいろな町民の人と交流して和寒町を楽しんで欲しい」と話してくれました。



農村生活体験事業の詳しい内容については、農業委員会 (TEL 32-2435) までお問い合わせください。